




審査結果報告書

平成29年 1月24日

主査氏名 宮岡 等 

副査氏名 山岡 邦宏 

副査氏名 天羽 康之 

副査氏名 堤 明純 

1. 申請者氏名 : 渡辺 裕之

2. 論文テーマ : Investigation of stress levels before the onset of idiopathic sudden sensorineural hearing loss.
(突発性難聴の発症前のストレスレベルの調査)

3. 論文審査結果 :

北里大学病院において、2011年から2013年までの3年間に、突発性難聴で入院した患者42例を対象に、アンケートと血液指標(血清HbA1c、総コレステロール)を用いて、発症前一定期間のストレスと発症との関連を検討した前向き研究である。アンケート上、入院時と比べ再診時には自覚上のストレスは有意に減少し体調は有意に改善した。血清HbA1c、総コレステロールは入院時と比べ再診時には低下した(総コレステロールは有意差あり)。また、ステロイド治療を入院前にすでに他院で施行されていた患者に関して、入院時の血清HbA1c、総コレステロールはステロイド投与と関連が無い事が示された。以上が研究結果として示された。

一方、本研究の限界として、入院後、ストレスを減じる努力をしていた、食生活が変わるなどしていることにより結果に影響を与えていた可能性は否定できない。また、①他のストレス関連の疾患(例えばメニエール病など)よりもストレスの度合いが多いのか、②ストレスの有無で2群を作るとすると、ストレスの無い群はどのように設定するのか、③ストレスの生物学的指標を使うとすると何があるか、④ストレスの評価自体非常に難しい、などの指摘もあった。

以上のように、本研究には今後検討されるべき課題を残しており、実臨床での意義を求めするにはさらなる検討が必要であるものの、これまで報告の少ない突発性難聴の発症とストレスの関連性を示した報告であり、未だ原因不明の突発性難聴の原因の一因を解明する上でも有意義な研究であると評価された。